

東京バッハ合唱団 月報

[第 643 号] 2016 年 1 月号

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 5-17-21-101

Tel: 03-3290-5731 Fax 専用: 03-3290-5732 郵便振替: 00190-3- 47604

Mail: office@bachchor-tokyo.jp http://bachchor-tokyo.jp/

BACH-CHOR, TOKYO

Monthly Newsletter No. 643

January 2016

5-17-21-101 Funabashi,
Setagaya-ku, Tokyo

新年を、新たな決意で

敵一味方、悪魔一天使。 小山晃佑『逆コース』を読みながら

大村 恵美子

新年おめでとうございます。どの年も、「歴史上見わたしても、こんなに多事多難な年は、かつてあっただろうか」と、当事者はみな感じていたのかも知れません。それにしても、2015 年は、何か画期的なモラルハザードが出現した、極端な年だったように思われます。底が抜けたような恐ろしさは、日本では 2011 年 3 月 11 日の天的・人的カタストロフから目に見える形になってきましたが、2015 年には、その勢いが、世界的な原始ジャングル状態として全人類に突きつけられてしまったのです（＜イスラム国＞の出現など）。

私自身は、もう程なくこの世に別れを告げるべき年齢にあるため、家じゅうのあちらこちらを片付ける意味もあって、これまで手をつけなかった処から、過去が掘り出されてくる経験をしています。そうして現れた書物などに読みふけり、まさにこの現在にもピッタリ呼びかける内容であることを再発見して、立ち往生に近い気持ちの今の私たちが、新しいことを言おうとしてあがくよりも、こんな時期に、すでにここまで達していた人があったのだと、知ってもらいたい、と思うことしばしばなのです。

小山晃佑氏の『逆コース』という、B6 判・124 ページの著書（同信社、2007 年刊、本体 1000 円）も、かくして再発見された貴重な記録でした。著者によれば、2 千年前に、歴史上に実在した「ナザレのイエス」は、いま私たちが発掘して掘りあてた真理を、すでにそんな昔に語り伝えた人で、この人物の言行に立ち帰るのが、「逆コース」と言うべきものだと言っています。

「逆コース」の意味が完全に逆転していることが、この著書のインパクトなので、私たちの心に強くアピールします。月報記事には心ならずも、私の取り次ぎ的部分を介さずに、著者本人の文章を何か所も引用するという紹介の仕方をさせていただくことになりましたが、その前に、私自身、この「キリスト教世界〈対〉イスラム教世界」の反目の 500 年史への立地点を、私なりに短く披瀝して、新年への決意表明とさせていただきます。

*

平たく言いますと、人間は、構えるよりも先に、偶然生まれてきたところから近くに住む、あるいは旅行

先などで出あう住民、市民、国民、民族等々と、24 時間、一緒に話したり、食べたり、遊んだりする機会がもてると、相手の出方もよく理解できて、とんでもない攻撃に出会っても、処し方をあやまらず、殺し合いまでに至らないですむことができます。強力なグループあるいは個人が現れて、浅はかな判断から「やってしまえ」と、けしかけても、まあまあ、と収める余裕ももてます。——これが多少とも戦争を仕掛けにくくする要因ではないでしょうか。大衆を圧倒する武器と、好戦的なリーダーの存在をおし止められない時に、戦争が発生します。J. S. ミルとか、カントとか、難しい翻訳本を額にたてじわを寄せて読みこなそうと苦勞するよりも、こんな日常生活を尚ぶ庶民の在り方こそが戦争防止の決め手になるのだと、私は信じます。

そして、それは、昔現れたナザレのイエスの言動から、多くを示唆されるものだということも、確かなのです。私の母国は、仏教も、キリスト教も、こなせる形で取り入れた国です。イスラム教は、間接的にしか影響を受けなかったようですが、すべての既成宗教は、表現こそ違え、同じ根をふくむ宝に満ちています。それをあげつらって、ここが違う、あそこが……と、ついに殺し合うのは、それこそ愚の骨頂。そんな人間の姿こそ、神から憐れまれるべき実態でしょう。キリスト教では、イエスのことを「真の人間にして真の神」と言っています。これに他宗教は目くじらをたてるかも知れません。

しかし、ここが私の本音なのですが、この「真の人間にして真の神」の表現もふくめて、私は「神」というのは、全人類が理想として掲げる存在のこと、自分自身もやがてはそのようなものに開眼し、そして到達したいと願うもののこと、と信じるのです。このことを、小山晃佑氏は、言をつくして訴えているように思っています。仏教の「己のうちに仏性あり」も、同様の意味合いと受け取れるのではないのでしょうか。

*

2007 年にこの著書を読んで以来、多くの人に読んでもらいたいと願いながら、今日に至りました。いま読み返してみると、あの 9. 11 ショック直後の小山氏の言葉が、そのまま「イスラム国」が横行し、シリア難民が

世界中にさまよい歩く、2015年 - 2016年の現在に生きているのをさとり、おどろきます。

いま私たちが歌っているバッハのカンタータで、敵一味方、悪魔一天使が、どぎついほどのテーマになっていて、その現在の効果にも心服しているところです。浅い思惑から、また〈自分だけOK〉(下記)の慢心に至らないよう、よく心して歌の真意をつかんでゆきましょう。地球上の未曾有の乱れは、こんご長期化すると見る識者が多いのですが、私たちは、朝ごとに、子や孫にそのまま渡し継げるような地球にとり戻すべく、全努力を傾けてゆきましょう。

(少し先のことになりますが、私は2017年前期あたり定期演奏会のタイトルを、“敵を赦し 天では神の子すべての友に”として、次の4曲のカンタータを取りあげたいと考えています。BWV 1《あしたに輝く たえなる星よ》、BWV 176《抗い また怯むは こころの常》、BWV 178《主 われらに在さずば》、BWV 177《呼びまつる イエスよ》)

著者・小山晃佑(こやま・こうすけ)氏 紹介

1929年、東京生まれ。米プリンストン神学校で哲学博士号を取得、タイ、シンガポール、ニュージーランドで教鞭をとり、74年から79年までニューヨークのユニオン神学校のエキュメニカル神学教授を務めた。

主著は『水牛神学』、『富士山とシナイ山—偶像批判の試み』。日本では『裂かれた神の姿』(日本基督教団出版局)、『視よ、この人なり』(同信社)、『逆コース』(同)などがある。2009年3月25日、米マサチューセッツ州ベイステートの病院で死去。79歳。

小山晃佑『逆コース』よりの引用

1. 信じ難いけど

〈父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださる〉(マタイ5:45) (p. 8)

〈奈良正倉院の古代文書の税金報告書で、703年に年寄りと貧乏人に政府が補助を出したと書いてありました。……「すべての人を照らすまことの光」(ヨハネ1:9)が古代の日本を照らしていたのです。この光は「とこしえにわたしたちを超えて力強い(詩編117)」のですから。……ニューヨークを照らすが東京は照らさないうものでもありませんから。〉(p. 9)

〈だから寄留者、孤児、寡婦に親切でなくてはなりません。外の人のほうが内の人よりも大切なのだという恐ろしい「ひっくりかえし」が聖書の中核にあるのです。……これが21世紀のキリスト信者の大いなる責任と喜びであると思います。〉(p. 11)

2. 無条件の豊かさ

〈開口一番、聖書は「初めに、神は天地を創造された」と無条件に宣言する(創世記1:1)。神の子キリストは無条件で「罪人や徴税人と一緒に食事をされる」(マル

コ2:16)。……その「満ちあふれる豊かさ」(ヨハネ1:16)がわたしたちを当惑させ躓かせる。〉(p. 12, 13)

3. 「よろしく」と言う心

〈わたしは、今、主にアメリカで生活していますが、2001年9月11日のテロ事件以来、アメリカの国論が一つのことに集中しているのです。それは、「さあ大変だ。もっと軍備しなくては。テロの悪者どもをすべて退治しなくてはならぬ」。……戦争の方向ではなく、理解と和解の方向に進んでゆかねばと思いますが、ここにここ500年の歴史の流れが人類をキリスト教世界対イスラム教世界というような、おそろしい対立反目の中に押し込んでしまいました。〉(p. 19)

〈第2次世界大戦といわないで第2次世界大殺人といってください。その方がはっきりしています。戦争悪に比べたら他のすべての悪は小型悪になるでしょう。〉(p. 19, 20)

5. 生命を選ぶ

〈小泉首相の「備えあれば憂いなし」という言葉の中には、自分たちは問題ないが「あの連中たちが問題だから」備えておこうという自己OK主義があります。……他者を見下げる独善自賛からすべての暴力は発生します。〉(p. 32)

〈21世紀は目下、大型宗教戦争のまっただ中です。わたしたちは仏教世界とかイスラム世界とか区別しますが、そのような区別にはおかまいなく「その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである」。(ヨハネ1:9)〉(p. 33)

7. 地球を愛せ、隣人を愛せ、敵を愛せ

〈人々の間に争いがあり、ある人、またはあるグループ、又ある国は敵である、味方であると分かれているでしょう。しかし全部の人は敵も味方も同じ一つの地球方舟の上に住んでいるのです。だから地球に親切にすることは敵を愛することにつながっているでしょう。〉(p. 38)

〈地球汚染は人間関係汚染から来ていると思います。〉(p. 41)

〈あまり手前勝手なことをすると地球そのものが人間を破滅するよ、ということです。……「人間親切」は「地球親切」と「敵親切」につながっている。それでこれらの「大切」と「親切」は神がすべてを「極めて良かった」と宣言し、すべてのものに対して「大切」と「親切」を示したもうたことの中に含まれている。〉(p. 42)

〈戦争を地盤にして人間の世界は存続している……。敵があらわれると元気になります。国民精神総動員になります。需要産業という「うれしいおとずれ」が始まります。……ですから敵のないときは敵をつくらねばなりません。そして天下御免の人殺しが始まります。「お国のために！」となります。そして戦死した人たちを英雄としてまつりあげます。どこの国にも「ヤスクニ神社」があります。〉(p. 43)

〈敵を愛するイエスには敵はありません。……わたしたちの愛には何か計算的なものが入っています。愛したら何かの形で利益が返ってくるだろう……。このような「無計算的愛」はわたしたちには全く不可能であると言い切ってさっぱりしてしまうことは、……神をないがしろにすることを意味します。……無計算的なものがない世界に無計算的なものを直接持ちこむことはできないでしょう。しかし計算社会はいつまでたっても戦争世界ではありませんか。「敵を愛する」ということを学ばない人類は戦争世界の中に閉じこめられた人類ではないでしょうか。〉(p. 43, 44)

8. 空襲はあってはならぬ

〈1900年から1990年までの90年間に世界で1億800万人の人が戦争で殺されている。20世紀は暴力と死の世紀である。そして「天は神の栄光を物語り、大空は御手の業を示す」という大空を人間は爆弾とミサイルで汚した。〉(p. 47, 48)

〈今日の世界で一番の軍事国家はアメリカ大帝国。……遠距離から大量殺人のできる「文明」の中にわたしたちは生きている。この「文明」では殺す方も、殺される方もお互いに見ることがない。……ハイテク戦争、「顔なし」殺人をあたりまえのこととして受け入れる何か人間の中の心の中にあることは恐ろしいことだと思う。……モレク^(*) 焼き場神ののさばるかぎり、子供たちは小鳥たちと楽しい夢を見ることはないだろう。〉(p. 48, 49) [*] エレミヤ 32 : 35]

10. ニネベと東京

〈権力者が「わが国は万邦無比の神国である」などと言った時、国民が、「いやそうではない。世界にはたくさん国がある、日本はその多くの国々の中の一つだ。日本は無比ではなく比較と相互理解の上に生きてゆくべきだ」といったら、ヒロシマ、ナガサキもおこらないですんだらう。南京虐殺もなかったらう。……しかし一度、王の苛酷政治が始まるとそのような発言はきわめて困難になる。〉(p. 59)

12. 逆コース

〈「順コース」は自分を愛する人を愛せという。ところが逆コースのイエスはこころをくだいて友のない人の友になります。〉(p. 71)

〈逆コース・イエスの光で敵をみると、人間の世界では通用しない、とても実行できそうもないところに立たされます。……「敵は力があり、わたしを憎む者は勝ち誇っているが／なお、主はわたしを救い出される」(詩編 18 : 18)。……人間の世界は不完全でこわれています。人間はお互いにふみつぶし合っているのです。それでもふみつぶされている者、国際的、社会的弱者——たとえばアメリカの黒人たち——を主は救い出したもうと言うことは大切です。……「隣人に平和を約束していても、その心の中では、陥れようとたくらんでいる。これらのことをわたしは罰せずにいられようかと主は言われる」(ヤコブ 9 : 7, 8)。……神がわたし

たちの敵になるのではなく、わたしたちが二枚舌で神の敵になるのです。〉(p. 73)

14. 「愛国」と「愛他国」

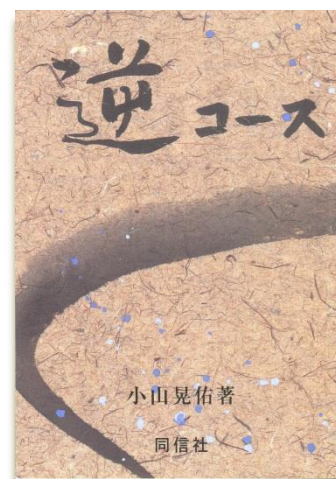
〈愛国は無批判とくつつく。自己批判のできない国はいずれつぶれるだろう。……愛国はゆがんでいて「平和がないのに『平和、平和』と言う」(エレミヤ 8 : 11)〉(p. 84)

17. 偶像神

〈厭離穢土(おんりえど)欣求浄土(ごんぐじょうど)……。……イエスは穢土に、わたしたちは浄土に向かっている。こういう具合にはいかない。なぜなら、浄土は穢土を愛し、そのために御自身を捨てたイエスの中にあるから。浄土と言う言葉は美しい。それは空を赤くそめて夕日の沈む西方にあるという。心さえ浄土ならこの穢土も浄土だと思ふ。心浄土浄、新約聖書の言葉は浄土ではなくて「神の国」。「み心の天になるごとく地にもなさせたまえ」は地を重要視している。「欣求浄土」はこの祈りと言い換えても良いかと思う。〉(p. 88, 89)

〈敵を悪魔、味方を天使と勝手にわけることは裁きを曲げている。他者を悪魔化することは、いずれ自分を悪魔化することになる、とアメリカ黒人作家ジェームス・ボールドウィンと言う。……人間の罪はあらゆるところにあまねくある。他者悪魔化から戦争という巨大なビジネスが始まる。そして巨大なお金が動く。巨大なお金が動くと必ず巨大な賄賂が起こる。この一連の人類破滅の原点は「自分は正しい人間だとうぬぼれて、他者を見下し」(ルカ 18 : 9) から始まる。〉(p. 97)

〈「神よ、アメリカを祝したまえ！」とアメリカ大衆が口をそろえて唱える。アメリカの教会にはアメリカ国旗がある(日本の教会には……国旗はない)。……この国は人の前にも神の前にもうるわしい国、恵まれた国であると言う。いつも良いことをしているアメリカを「神よ祝したまえ」と言う。……しかし偏見のない神はアメリカだけを罰せず、祝するわけにはいかないだろう。……軍国アメリカと、裁きを曲げない正義の神とが癒着していると考えことは冒瀆である。……神は全世界を祝したもう。その中にイラクもアメリカも入っている。〉(p. 99, 100)



お・た・よ・り

若松 丈太郎 様 (団友)

自然災害と人災（核災）との二重災害を被った南相馬市で、バッハの教会カンタータを日本語歌詞で演奏することの意味について、大村健二さんの思いを述べられた「バッハ・カンタータの日本語演奏」を読みました。

わたしたちは、自らの思いを他者に伝えようとするとき、動作・表情、楽器による演奏、絵画表現など、さまざまな手段によっておこなうことができます。そのなかでも、わたしたちには「ことば」という有効な表現手段があります。ことばによっても十分に伝えきれないと思わざるを得ないことがあります……。

ことばはさまざまな性質と働きとを併せ持っています。そのなかでも意味性をもっとも重要であることに異論はないことでしょう。

バッハはことばと音楽の力を認め、このふたつを融合させようとしたのではないのでしょうか。ここでは、ことばの意味性を無視することはできません。ほとんどの日本人がドイツ語を理解できないのであれば、歌詞を日本語に訳して歌い、聴くことによって、はじめてわたしたちはバッハを受容することができるのでしよう。

亡くなった人びとへの魂鎮めは、生きている者たちの魂を鎮めようとするものでもあろうと思っています。多くの聴衆の感想は、そう受けとめてのものだったことを表していると感じました。

「月報」10月号、11月号掲載の村山英司さんや石井百合子さんの文章ほかも読みました。

南相馬市で演奏会をおこなっていただきましたことに、あらためて御礼を申し上げます。ありがとうございます

ございました。

9月に卒倒なされ、11月まで入院とのこと、その後は回復され、お元気と伺っています。お大事になさってください。

新作5篇をお送りいただきました。そのうち、最新と思われる一篇を紹介させていただきます（次頁 p.5 下段）。

☆☆☆

佐々木 まり子 様 (団友)

師走になり、一気に冬の気配濃い日々になってまいりました。盛岡、今朝[12月10日ごろ? (編集部)] -4℃、日中も4℃ということです。

大村先生もその後お変わりなく、お元気でいらっしゃいますか。

8月の南相馬でのコンサート、それを収めたDVD etc.……今年のマインイヴェントを、今、心から感謝して思い返しております。先生はじめ皆様の、忍耐強い思いと取り組みによって実現した貴重な経験でした。

また、5月にはすてきな内容のカンタータをご一緒できること、早速のタイムテーブル表もいただき、楽しみにしながら準備したいと思えます。

私も、これから毎年恒例の、盛岡市民クリスマス・コンサートに向けて大忙しです。ちらしを同封しましたので、覚えていただけたら幸いです。子どもたち、今年新しいメンバー5人も加わり、15人ほどになりそうです。そして何より、ハープ伴奏でブリテンの「キャロルの祭典」全曲を演奏できるのが楽しみです。

団員の皆様にも、どうぞよろしくお伝えくださいませ。

岩手の、大きなりんごをお届けくださいました。ごちそうさまでした。

古い机の抽斗の底から出てきた一枚の紙片

茶色いインクで印刷された縦18cm横10cmの粗末な紙

「青壮年国民登録済証」

昭和十七年九月三十日現在で提出した登録の控え証

該当者は満十六歳から二十五歳までの独身女性

男性の該当者は満十一歳以上四十歳未満だ

日中戦争が全面化長期化する

「帝国臣民ヲ徴用シテ総動員業務ニ」就かせるため

国家総動員法・国民徴用令を公布した

この流れのなかで太平洋戦争開戦直前には

国民勤労報国協力令を昭和十六年十一月に公布した

戦況が悪化し学徒戦時動員体制確立要綱を閣議決定

女子挺身勤労令を公布して

十八歳から四十歳までの女性を軍需工場に動員した

敗戦まぎわには国民勤労動員令を公布して

「国民皆働」を口実に病人までも動員の対象にした

挙句の果てには十七歳未満の少年兵を新設し

十七歳以上の女性に義務兵役を課し

「一億国民ヲ挙ゲテ光榮アル天皇親率ノ軍隊」にと

「国民総武装」を喧伝して竹槍を持たせた

「一億玉砕」を喧伝してベニヤ板製の舟艇に乗せた

子どものころに肉弾三勇士の絵本を読んだ

彼らのはつぐられた英雄だったことを戦後に知った

メディアまでもが国策に加担したので

肉弾三勇士の姿に重なって見えないか

爆弾をくりつけられた砂漠の国の少年少女が

『詩人会議』二〇一六年一月号

☆☆☆

宮田 光雄 様 (団友)

「バッハ・カンタータの日本語演奏」を興味深く拝読。南相馬の演奏会の活発な反応もふくめて大いに啓発されました。

2002年にエルベ河の氾濫被害が大きかった頃、ブレーメン聖堂で行われたチャリティ・コンサートで聴いたカンタータ 21 番の体のふるえるような感動と周囲の聴衆の反応のことなど思い出しました。大村健二氏のエッセイ末尾の「バッハ受容の、もう一つの断面」という言葉に深く共感しつつ大分前に—1980 年代半ば—来日したリング氏が日本のテレビとのインタビューで語ったことにも通じるように感じた次第です。小生自身はやはり聖書テキストの喚起するイメージにとらわれていますが。

小著『カール・バルト』が近刊されますので、出版社から届けさせます。御照覧下さい。

アドヴェントの御祝福とともに！

この絵ハガキが MARIA が驚きの余り、聖書を手から落としているのがとても印象的です。

ご著書『カール・バルト—神の愉快的パルチザン』が岩波現代全書の一冊として、2015年12月7日に発行されました。右図、お送りいただいた絵ハガキの図柄。



●渡辺禎雄版画「受胎告知-1982」

歌う「キリストの声」Vox Christi の役割もあり、バッハを歌うことは、正に調和ある「生ける全体」Ein lebendiges Ganze の体現。毎回コンサートを終えると、バッハのカンタータの旋律で、自分の心に新たな境地を発見できます。バッハと歩むことは、年齢を重ねてからこそできる積極的活動、また自由境地の獲得だと思えます。

今回特に印象に残ったのは、BWV40《地に来ませり神のみ子》の1曲目の、天使と悪魔の壮絶な戦いをテーマにした降誕節の祝祭的合唱、またそれに続く2曲目テノール・レチタティーヴォでした。

1曲目の合唱は、あの聖歌2番の《諸人こぞりて》の第2節〈悪魔のひとやをうちくだきて とりこをはなつと 主は来ませり〉に符合すると思われませんが、いたるところに〈毀(こぼ)たん〉(zerstören)が、また2曲目は、通奏低音で「王が家来となり、主人が下僕となり」救い主が生まれる(geboren)、その降誕を喜びとする曲です。

それぞれ価値の転倒、勝利と救いというこの世の平和を希求する全ての人類に向けたメッセージ性があり、予測できない時間流ののって未知なる物に次々遭遇していく今の我々の世界を思うと、これを歌えたことで、新たに迎える年への我々のポジティブな「祈り」となりました。

ご指導いただいた大村先生に、この場をお借りして感謝申し上げる次第です。

12月26日「クリスマス音楽の午後」のコンサートを終えて

本田 茂樹 (団員、バス)

今年もクリスマス恒例の荻窪教会でのコンサート、

今回はモンゴルからのお客さまを大勢お招きして国際色豊かに、また満員御礼の中、無事終了致しました。ちょうど 292 年前 (1723 年) 12 月 26 日の同じ日、降誕節第 2 日目に 38 歳のバッハが初演したのが、今回歌った BWV 40 《地に来ませり神のみ子》という祝祭的合唱であり、とても感慨深いコンサートでした。

私のバス・パートは、イエスの言葉を

マイナ
ンバー
ってな
に?
一億
総活躍
社会
ってな
に?
戦争
がで
きる
国
って
な
に?
こんな
問い
に答
える
か
の
よ
う
に

十
歳
の
夏
ま
で
戦
争
だ
つ
た
6

若
松
丈
太
郎

(前頁、p.4へ)

＜終了ご報告＞

荻窪教会・クリスマス特別演奏会
“クリスマス音楽の午後”

[日時] 2015年12月26日(土)、午後2時開演

[会場] 荻窪教会

[曲目]

- ・カンタータ第40番《地に來ませり 神のみ子》
- ・カンタータ第16番《主 ほめ歌わん》
- ・カンタータ第192番《ああ感謝せん 神に》
- ・みんなで歌いましょう
…コラール2曲 (BWV 192/1、BWV 147/10)

[出演]

指揮・訳詞：大村恵美子、オルガン：石川優歌、
合唱と斉唱：東京バッハ合唱団

[入場者数] 88名

.....

60名分用意したプログラムが、あつという間に無くなってしまい、あわててコピーしました。後からの方は、挟みものの楽譜(上記2曲のコラール)などがなく、失礼いたしました。ご希望の方、お申し出ください。ご郵送いたします。[事務局]

「クリスマスの贈り物」

相良 聖美子 (団員、アルト)

コンサート当日なのに、大事な日だと言うのに起きられず。大慌てで出かけました。忘れ物をしましたが、リハーサルには間に合いホッとしました。いつもより短い時間で着いてしまったからなのです。

リハーサルはスムーズに進みました。皆さん慣れていらっしゃる。お天気も良くお客様たくさんいらっしゃるでしょうか。本番はどうだったのでしょうか？私は、練習の時よりきれいな響きに感じました。何故、練習と本番は違うのでしょうか。歌っている位置が違うから。みなさんの気合いの入れようが違うからか。先生が練習の時と違う指揮をしているのか。不思議です。リハーサルの途中に来られた方に、どんな具合に聞こえたか、先生が尋ねました。扉の向こうではきれいに聞こえたけれど、部屋に入ってきたらそうでもなかったそうです。やはり場所によって聞こえ方が違うのですね。出来・不出来は新年に先生の講評を仰ぐとしましょう。

さて、懇親会です。私は配膳の担当だったのですが、出遅れてしまいました。お姉様たちが準備をしてくださいました。すいません、そしてありがとうございます。食べ物がたくさんあって食べきれませんでした。残念。おいしい差し入れをたくさんありがとうございます。ポトフが、やはりおいしかったです。暖かい物があるとホッとするし、うれしいです。

出し物も内容充実で、びっくり。挨拶で終わるのかと思っていました。3Dの紙芝居も良くできていました。近くで見たかったな。モンゴルからのお客様や着

物の先生方、お客様も多彩。なかでも一番は、皆様と声を合わせて歌ったことです。合唱団らしくて抜群に素敵でした。後援会ははじめ応援団の皆様方も歌いたいですよね。

新しい年も、素敵なハーモニーになりますように。

＜終了ご報告＞ クリスマス懇親会

[日時] 左記演奏会終演後、午後3時30分～5時30分

[会場] 同左

[会費] 1000円

[参加人数] 来賓+団員で90名ほど

.....

団員の田中克彦氏(言語学・モンゴル学。団員としても歌っていらっしゃいます)が、モンゴルからのお客様を多数お誘いくださいました。

準備委員(委員長T林さん)の皆さんの大車輪の活躍で大盛況。お疲れさまでした。

2016年の活動予定

＜新年練習開始＞

1月9日(土)、午後3時30分～5時30分、荻窪教会
1月11日(月)、午後6時30分～8時30分、◎荻窪教会!! (◎会場注意:祝日の練習は休みとしていますが、新年にあたり練習を行います。ただし、会場の都合で、荻窪教会となります。目白聖公会ではありません)

＜第113回定期演奏会＞ … チラシをご参照ください。

5月28日(土)、午後2時開演

府中の森芸術劇場ウィーンホール

- ・カンタータ第148番《み名の栄光を讃えよ》
- ・カンタータ第40番《地に來ませり 神のみ子》
- ・カンタータ第16番《主 ほめ歌わん》
- ・カンタータ第192番《ああ感謝せん 神に》

チケット：前売り3500円(全席自由500席)

発売開始予定：2016年1月中旬

＜野尻湖合宿&湖畔のコンサート＞

8月4日(木)～7日(日)、(詳細続報)

長野県信濃町のみなさんとのコラボ(山本悠尋先生を中心としたワークショップ)なども予定。

＜第114回定期演奏会＞

12月3日(土)、午後2時開演

府中の森芸術劇場ウィーンホール

- ・カンタータ第14番《かたえに 主いませずば》
- ・《アンナ・マグダレーナ・バッハの音楽帳》より
- ・カンタータ第82番《われ 足れり》
- ・カンタータ第140番《目覚めよと呼ばわる 物見の声 高し》

◆第113回、第114回とも新規入団歓迎です。お問合せください。